

Press Release

2026年1月13日
報道関係者各位

株式会社スマートサポート

【2026年4月 高年齢労働者対策の努力義務化に対応】

**「経験と勘」の安全管理から、「データに基づく」リスク管理へ
北大発認定スタートアップが、労災防止と説明責任履行を支援する
「軽労化®パッケージ」を提供開始**

開発の背景

- 法改正で問われる企業の「説明責任」

株式会社スマートサポート（本社：札幌市、代表取締役：鈴木善人、以下SS社）は、2026年4月から施行される、高年齢労働者の特性に配慮した労働災害防止対策の努力義務化を受け、企業の取組を包括的に支援する「軽労化®パッケージ」の提供を開始します。

日本の労働現場では高年齢化が急速に進んでおり、年齢や体力の変化に起因する労働災害リスクが顕在化しています。特に腰痛や転倒は、高年齢労働者に多く、一度発生すると長期休業や離職につながりやすいという特徴があります。国はこうした状況を踏まえ、“年齢・体力の個人差を前提とした作業管理”、“リスクアセスメントに基づく予防的対応”、“経営トップが関与する体制整備”を企業に求める方向へと舵を切りました。「努力義務」という言葉からは対応の優先度が低いように受け取られがちですが、実際には「何もしていなかった」こと自体が、事故発生時に説明責任を問われるリスクとなり得ます。

課題認識

- 中小企業が直面する現実

ここで重要となるのは、単に安全用具を導入することではなく、「自社の職場リスクをどのように評価し、なぜその対策を選択したのか」というプロセスを説明できるか、すなわちリスクアセスメントです。

しかし多くの中小企業では、“具体的なリスク評価の手法がない”、“コストや手間をかけられない”、といった理由から、現場任せ・個人任せの対応にとどまっているのが実情です。

軽労化® 2.0 という考え方

- 「人を仕事に合わせる」から「人に合わせて仕事を再設計する」へ

SS社は2008年の創業以来、「軽労化®」を経営理念とし、身体負荷を低減しつつ、体力の維持・増進を支援する技術開発に取り組んできました。従来の軽労化®（いわば1.0）は、補助具や装着型機器といった個別対策が中心でした。

一方、現在提唱している「軽労化2.0」では、年齢・体力・経験の違いを前提に、人を仕事に合わせるのではなく、作業内容・作業環境を評価し、仕事そのものを再設計し、測定・教育・改善を継続的に行うという運用モデルへと発展しています。

なおSS社は、北海道大学認定スタートアップとして、共同創業者であり技術顧問である 田中孝之（北海道大学大学院情報科学研究院 教授）をはじめ、産業医科大学等の研究者や企業との連携のもと、作業負荷評価や人の身体特性に関する知見を現場実装に結びつけてきました。

軽労化® パッケージの特徴

- リスクアセスメントを「一気通貫」で支援

今回提供する「軽労化®パッケージ」は、従来の「モノ（補助具）の提供」にとどまらず、「リスクの可視化」から「対策の実行・記録」までを一体で提供する点が特長です。

1. 無料オンライン相談

現場の課題や人材構成を整理し、何から着手すべきかを明確化します。

2. 軽労化®セミナー

経営層・労務担当者・現場が共通認識を持つための制度解説、労災リスクの理解、体力測定や腰部負荷計測のデモを実施します。

3. 軽労化®ナビ（リスクアセスメント）

ウェアラブル計測等を活用し、作業中の身体負荷や動きを数値化。作業者の体力測定も同時に行い、作業者の特性を踏まえた作業設計を提案し、対策の根拠を記録として残します。

4. スマートスーツ®（身体負荷軽減）

計測結果に基づき、必要な作業や人材に対して、身体負荷を軽減する支援機器等を適切に活用し、対策の形骸化を防ぎます。

専門家コメント

高齢化が進む現在の労働現場では、個々の努力や注意喚起だけで安全を確保することには限界があります。軽労化®2.0が目指しているのは、人を仕事に合わせるのではなく、人の特性に合わせて仕事そのものを再設計することです。

軽労化®パッケージは、身体負荷を定量的に捉え、教育や作業改善につなげていく仕組みとして、現場で実装可能な形に整理された取組です。

制度対応にとどまらず、企業が人を活かし続けるための基盤づくりとして活用されることを期待しています。

北海道大学情報科学研究院教授／株式会社スマートサポート 共同創業者・技術顧問 田中孝之

企業にとっての導入意義

軽労化®パッケージは、単なる労災対策にとどまりません。“高齢人材が無理なく働き続けられる環境づくり”、“若手社員にとっても安心して働ける職場づくり”、“健康経営・人的資本経営への対応”、“将来的な経営リスクへの備え”といった観点から、持続的な企業経営を支える基盤づくりとして活用できます。

▶ 取材・問い合わせ先

本取組に関する制度背景や、中小企業における高齢労働者対策の考え方について、情報提供や意見交換を目的とした取材・問い合わせを受け付けています。

株式会社スマートサポート

所在地：札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル4階

事業内容：作業負荷軽減・作業管理支援を目的としたアシストスーツ開発、軽労化関連サービス

備考：北海道大学発認定スタートアップ

Web：smartsupport.co.jp

連絡先：011-206-1462 / info@smartsupport.co.jp